新しい「都市計画マスタープラン」ができました

前回の計画改定から概ね10年が経過しましたが、人口減少や少子高齢化の急速な進展、ウポポイ開業後の新たなまちづくりへの対応など、本町を取り巻く環境は大きく変化しています。そこで現下の社会経済情勢に対応させるため、令和４年度を初年度とする、第２次白老町都市計画マスタープランを策定しました。

都市計画マスタープランとは

本町の都市計画に関する基本的な方針であり、都市の将来像や整備方針を明確にし、町民、事業者、行政がそれらを共有しながら、長期的かつ総合的な都市づくりを推進するための指針となるものです。

都市づくりの理念と目標

都市づくりの理念を定め、三つの基本目標に基づき、まちの持続的発展を目指します。

＜都市づくりの理念＞

戦略的な「縮充」による持続可能な都市づくり

人口や税収が縮小しながらも地域の営みや住民生活が充実する「縮充」のまちづくりを推進します

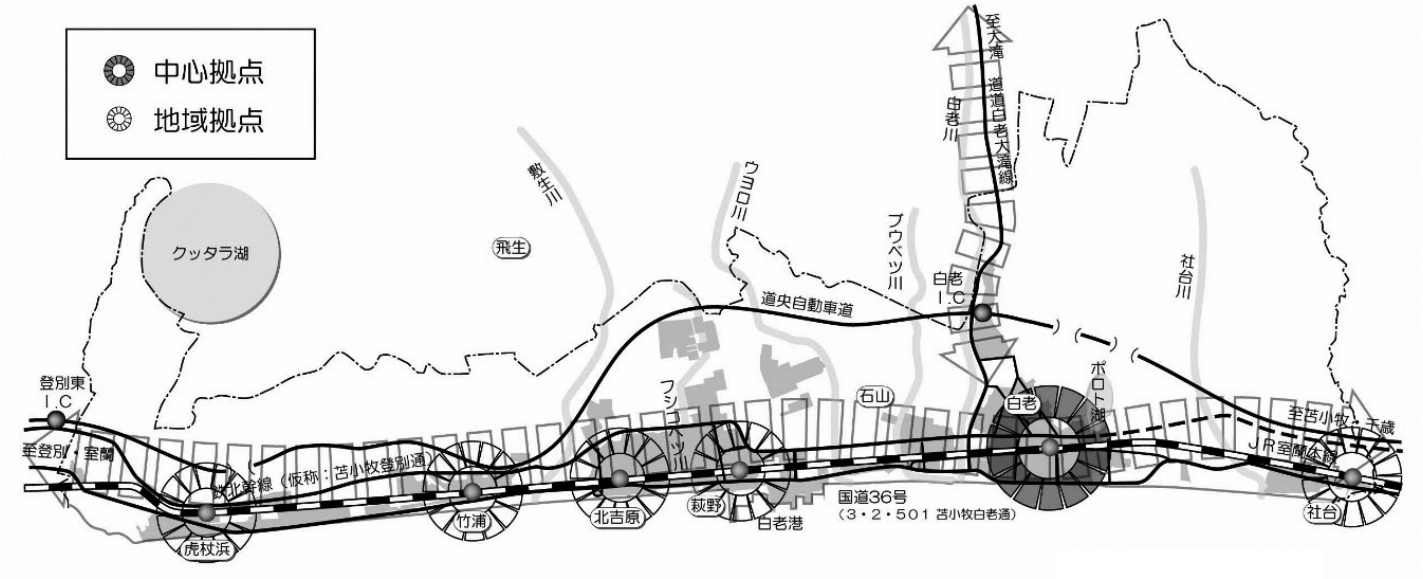
基本目標１
便利と快適を実感できる
コンパクトなまちの実現

基本目標２
豊かな暮らしを実感できる
魅力・活力あふれるまちの実現

基本目標３
誰もが安全安心に住み続けられる
自然豊かなまちの実現

＜将来都市像を実現するための都市構造＞

「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の都市構造

将来の都市構造

暮らしの場の近くに様々な都市機能や働く場が適切に立地し、それらが道路・公共交通のネットワークによって有機的に結びついた「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の都市構造を目指します。